

アレクシオンファーマ 低ホスファターゼ症 (HPP) WEBセミナー

2021年9月14日(火) **1回目** 19:00-19:35

2回目 20:00-20:35

(※同一の内容で講演が行われます)

長引く「原因不明の痛み」に潜んでいる希少疾患 ～ ALP 低値を確認することの重要性～

演者

三木 健司 先生

大阪行岡医療大学 医療学部 特別教授
早石病院 疼痛医療センター長

(セミナー紹介)

低ホスファターゼ症 (HPP) は、遺伝性の代謝性骨疾患です。昨今、治療薬の登場により疾患認知が広まる中で、国内外において症例報告され始めています。HPP は、アルカリホスファターゼ (ALP) の活性が遺伝子変異により、欠損・低下することによって発症する疾患です。中でも成人型 HPP は非特異的な症状を呈し疾患鑑別が難しく、本邦においても未診断患者は多く存在すると考えられています。

また、HPP Global Registry¹⁾ の結果、成人における HPP において「慢性の痛み」を呈している患者さんの割合が1番多いことが分かっています。このセミナーにおいては、進行性の本疾患 (特に成人における HPP) を概説し、日常診療において遭遇する原因不明の痛みを呈する患者の鑑別時に意識すべき疾患として、自験例を交えて診断の要点を紹介する予定です。

1) Seefried L, et al. Burden of Illness in Adults With Hypophosphatasia: Data From the Global Hypophosphatasia Patient Registry. J.Bone Miner. Res. 2020;35:2171-2178.



ご視聴方法 下記URLにアクセスいただき、ご視聴くださいますようお願い申し上げます。
なお、視聴サイトは当日18:00からオープンいたします。

https://next-live.jp/project/alexion_hpp_web_seminar_210914/

セミナー・講演会に関する最新情報は下記リンクにアクセスの上ご確認ください。

<https://strensiq.jp/seminar>

ストレンジック



ご検索いただき、医療従事者向けサイトよりお入りください。